

第 3 1 回 防 府 市 都 市 計 画 審 議 会 議 案 書

と き 令和 7 年 7 月 1 7 日 (木)

1 4 時 0 0 分 から

と ころ 防府市役所本館 2 階 共用会議室 2 A ・ 2 B ・ 2 C

第 3 1 回 防府市都市計画審議会審議事項

議案 番号	頁	地域地区、都市 施 設 の 種 類	決 定 権 者	審 議 事 項	内 容
1	1	道 路	山 口 県	防府都市計画道路の変更について	3・3・5 富海大道線
2	1 0	道 路	防 府 市	防府都市計画道路の変更について	3・4・1 0 佐波船本線 3・4・1 1 新橋宮市線
3	1 7	道 路	山 口 県	防府都市計画道路の変更について	3・3・2 防府山口線 3・4・2 6 戎町迫戸線

- 1 都市計画道路中 3 ・ 3 ・ 5 富海大道線の区域を変更する。

防府都市計画道路の変更（山口県決定）

都市計画道路中 3・3・5 富海大道線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・3・5	富海大道線	防 府 市 大 字 富 海 字 椿 峠	防 府 市 大 字 台 道 字 西 奥 河 内	防 府 市 大 字 牟 礼、 大 字 高 井	約 22,260m		4 車線	20.5m		
	構造形式の内訳		防 府 市 大 字 富 海 字 亀 山 第 一	防 府 市 大 字 江 泊 字 上 水 落		約 810m	地下式	4 車線	10.25m ×2		
			防 府 市 大 字 牟 礼 字 大 将 軍	防 府 市 大 字 東 佐 波 令 字 二 ノ 鳥 越		約 1,780m	地下式	4 車線	10m ×2		
			防 府 市 大 字 下 右 田 字 久 保 田	防 府 市 大 字 高 井 字 角 田		約 370m	嵩上式	4 車線	21.5m		
						約 19,300m	地表式	4 車線	10m×2 ～30m	山陽自動車道と立体交差 3 箇所 3・3・1 環状一号線と立体交差 1 箇所 3・3・2 防府山口線と立体交差 1 箇所 幹線道路と平面交差 5 箇所	
	幅員の内訳		20.5m			約 7,890m					
			21.5m			約 390m					
			22m			約 2,860m					
			25m			約 2,600m					
			25.25m			約 3,350m					
			28.25m			約 840m					
			30m			約 1,440m					
			10.25m×2（トンネル部）			約 810m					
	10m×2（トンネル部）			約 2,080m							

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

【 3 ・ 3 ・ 5 富海大道線】

本路線は、周南市境から防府市街地北部を東西に走り、山口市境に至る、防府都市圏の骨格を形成する幹線街路であり、主要都市拠点との連携を促進する道路として位置付けられています。

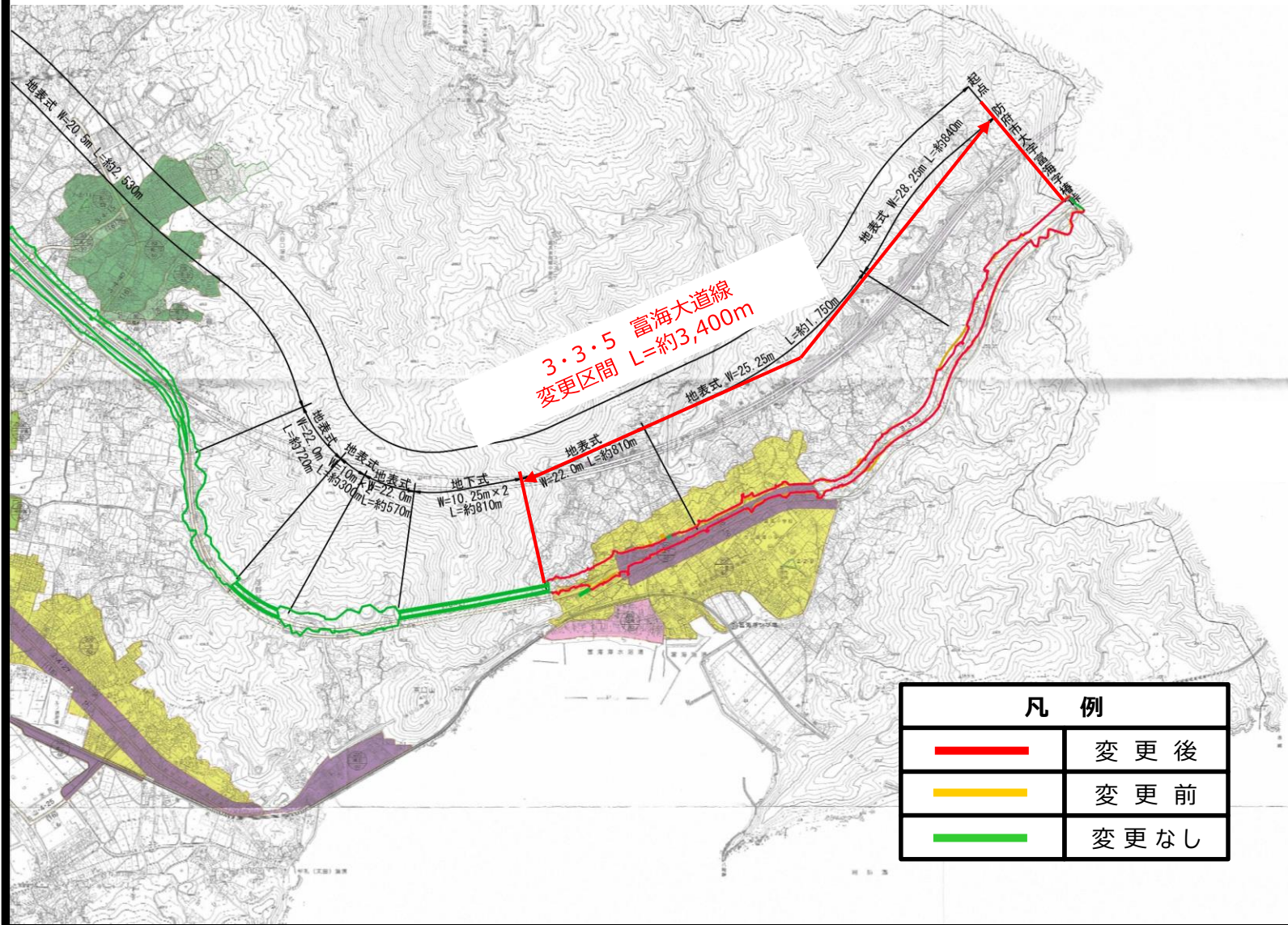
このたび、防府市大字富海地内における道路事業実施に際し、詳細な調査・設計の実施により、道路構造の一部見直しが必要となったため、区域の一部を変更しようとするものです。

3-3-5 富海大道線 延長22.3km



防府都市計画道路の変更

総括図

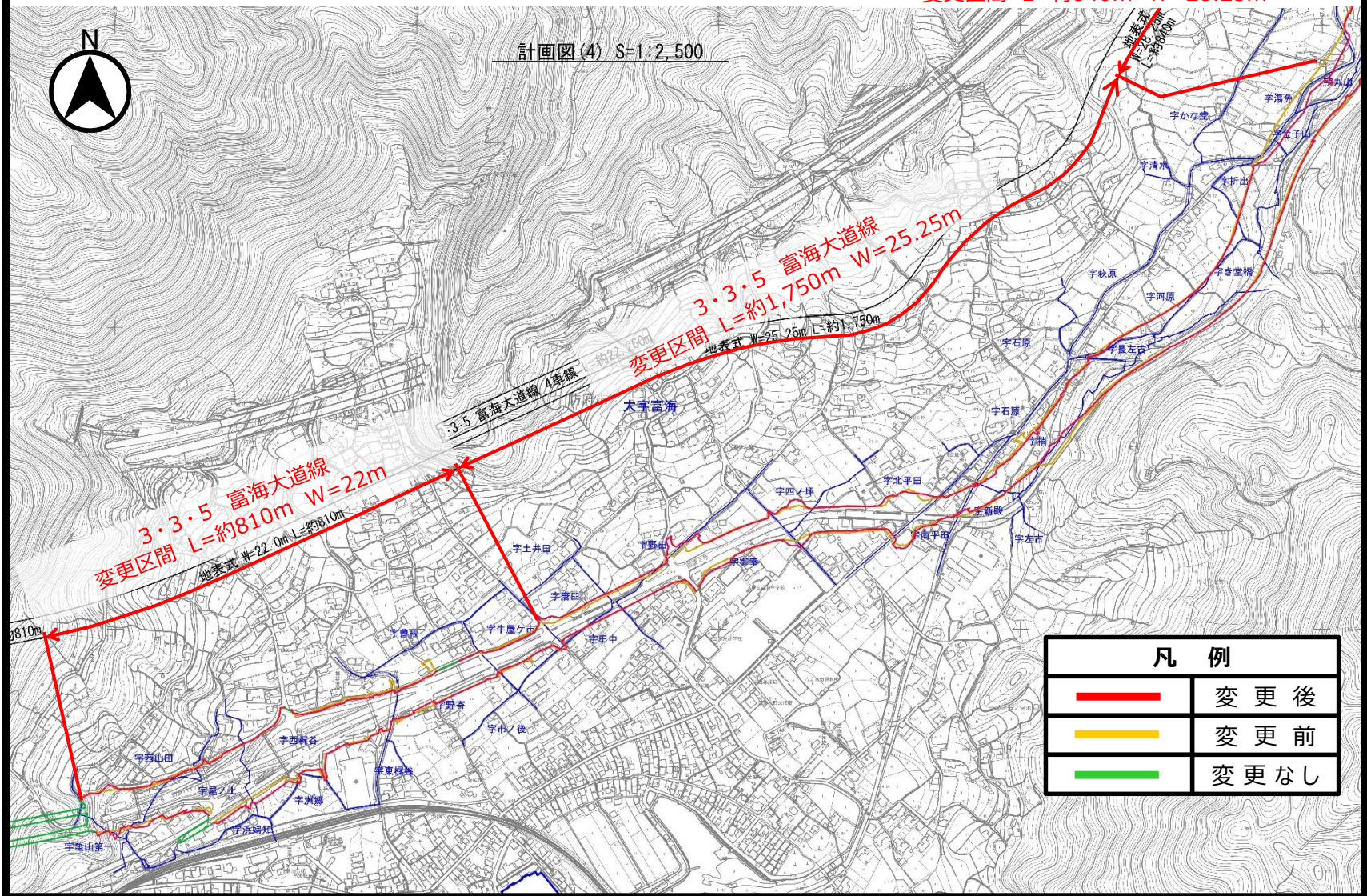


凡 例	
	変 更 後
	変 更 前
	変 更 な し

防府都市計画道路の変更

計画図

3・3・5 富海大道線
変更区間 L=約840m W=28.25m



新 旧 对 照 表

新 旧	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考	
		番 号	路線名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造		
旧	幹 線 街 路	3・3・5	富海大道線	防 府 市 大 字 富 海 字 椿 峠	防 府 市 大 字 台 道 字 西 奥 河 内	防 府 市 大 字 牟 礼、 大 字 高 井	約 22,260m		4 車線	20.5m			
		構造形式の内訳	防 府 市 大 字 富 海 字 亀 山 第 一	防 府 市 大 字 江 泊 字 上 水 落		約 810m	地下式	4 車線	10.25m ×2				
			防 府 市 大 字 牟 礼 字 大 将 軍	防 府 市 大 字 東 佐 波 令 字 二 ノ 鳥 越		約 1,780m	地下式	4 車線	10m ×2				
			防 府 市 大 字 下 右 田 字 久 保 田	防 府 市 大 字 高 井 字 角 田		約 370m	嵩上式	4 車線	21.5m				
						約 19,300m	地表式	4 車線	10m×2 ～30m	山陽自動車道と立体交差 3 箇所 3・3・1 環状一号线と立体交差 1 箇所 3・3・2 防府山口線と立体交差 1 箇所 幹線道路と平面交差 5 箇所			
		幅員の内訳	20.5m					約 7,890m					
			21.5m					約 390m					
			22m					約 2,860m					
			25m					約 2,600m					
			25.25m					約 3,350m					
			28.25m					約 840m					
			30m					約 1,440m					
			10.25m×2（トンネル部）					約 810m					
			10m×2（トンネル部）					約 2,080m					

新 旧	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考		
		番 号	路線名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造			
新	幹 線 街 路	3・3・5	富海大道線	防 府 市 大 字 富 海 字 椿 峠	防 府 市 大 字 台 道 字 西 奥 河 内	防 府 市 大 字 牟 礼、 大 字 高 井	約 22,260m		4 車線	20.5m				
		構造形式の内訳		防 府 市 大 字 富 海 字 亀 山 第 一	防 府 市 大 字 江 泊 字 上 水 落		約 810m	地下式	4 車線	10.25m ×2				
				防 府 市 大 字 牟 礼 字 大 将 軍	防 府 市 大 字 東 佐 波 令 字 二 ノ 鳥 越		約 1,780m	地下式	4 車線	10m ×2				
				防 府 市 大 字 下 右 田 字 久 保 田	防 府 市 大 字 高 井 字 角 田		約 370m	嵩上式	4 車線	21.5m				
							約 19,300m	地表式	4 車線	10m×2 ～30m	山陽自動車道と立体交差 3 箇所 3・3・1 環状一号線と立体交差 1 箇所 3・3・2 防府山口線と立体交差 1 箇所 幹線道路と平面交差 5 箇所			
		幅員の内訳		20.5m			約 7,890m							
				21.5m			約 390m							
				22m			約 2,860m							
				25m			約 2,600m							
				25.25m			約 3,350m							
				28.25m			約 840m							
				30m			約 1,440m							
				10.25m×2（トンネル部）			約 810m							
				10m×2（トンネル部）			約 2,080m							

- 2 都市計画道路中 3・4・11 新橋宮市線の全線を廃止し、
3・4・10 佐波船本線の区域を変更する。

防府都市計画道路の変更（防府市決定）

都市計画道路中 3・4・10 佐波船本線を次のように変更し、都市計画道路中 3・4・11 新橋宮市線を廃止する

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・4・10	佐波船本線	防 府 市 佐波二丁目	防 府 市 大字 下 右 田 吉 敷 瀬	防 府 市 平今本 和市 橋 市 町 町	約 1,410m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所	全線廃止
	幅員の内訳		幅員 16m			約 1,220m					
			幅員 12m			約 190m					
	3・4・11	新橋宮市線	防 府 市 新 橋 町	防 府 市 宮 市 町	防 府 市 今 市 町	約 930m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所	
幅員の内訳		幅員 16m			約 930m						

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

【 3 ・ 4 ・ 1 0 佐波船本線】

本路線は、本市の中心市街地と右田地区を南北に結ぶ延長約 1,410m の幹線道路として昭和 33 年（1958 年）に都市計画決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画への変更されています。

このたび、本路線と平面交差する 3 ・ 4 ・ 1 1 新橋宮市線の廃止に伴い、交差箇所の隅切りについての処理を行う必要が生じました。

このため、道路計画の見直しを行い、平面交差 1 箇所の構造を変更するものです。

【 3 ・ 4 ・ 1 1 新橋宮市線】

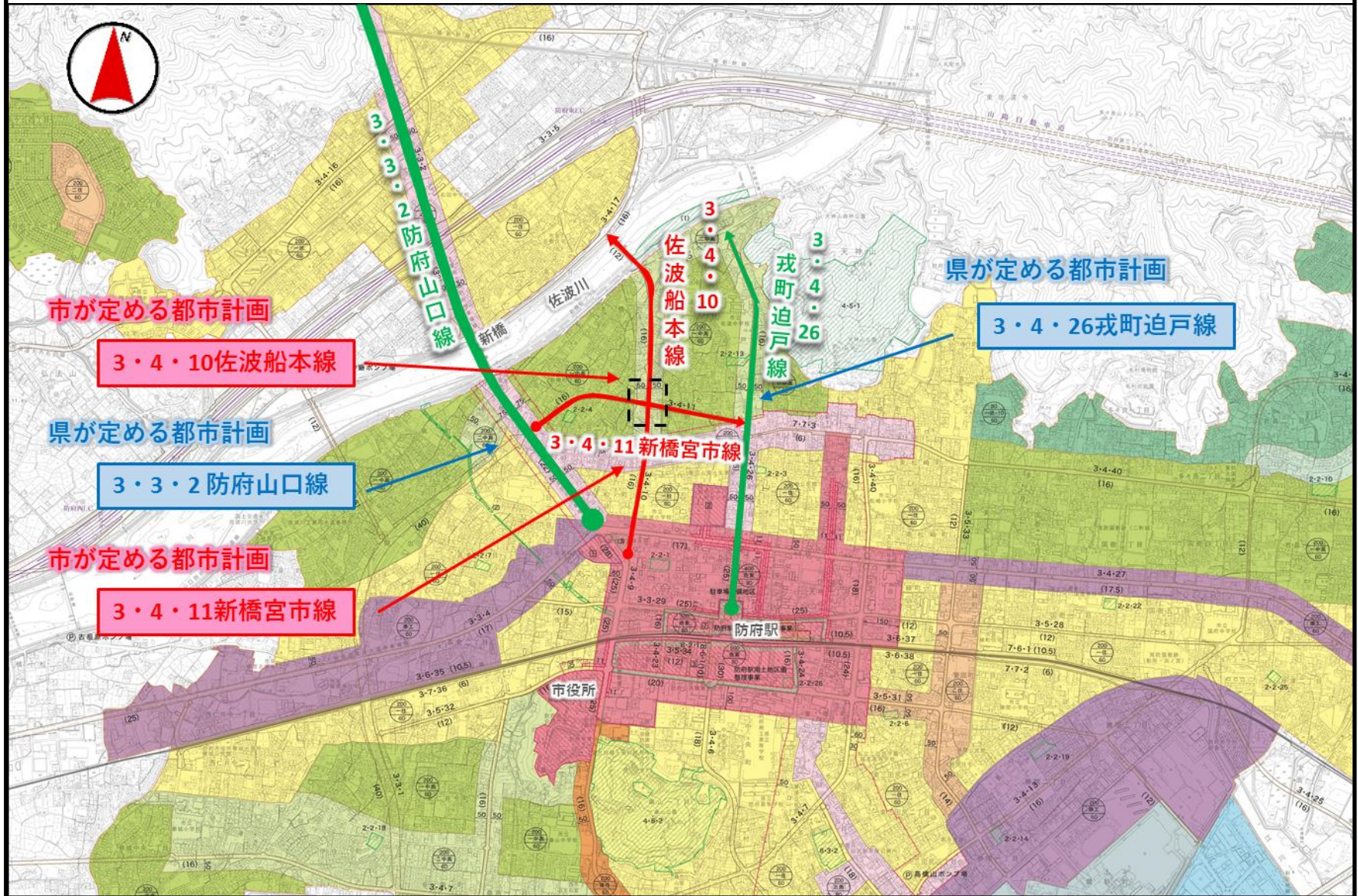
本路線は、本市の佐波地区と松崎地区を東西に結ぶ延長約 930m の幹線道路として昭和 33 年（1958 年）に都市計画決定され、平成 21 年（2009 年）に現在の計画へと変更されています。

現在の社会経済情勢の変化に対応するため、幹線道路ネットワークを検討した結果、将来交通量が見込まれないことが判明いたしました。

また、本路線を廃止した場合においても、周辺道路が代替機能を担うことで幹線道路ネットワークが構築できることから、防府都市計画道路見直し方針に基づき、本路線を廃止しようとするものです。

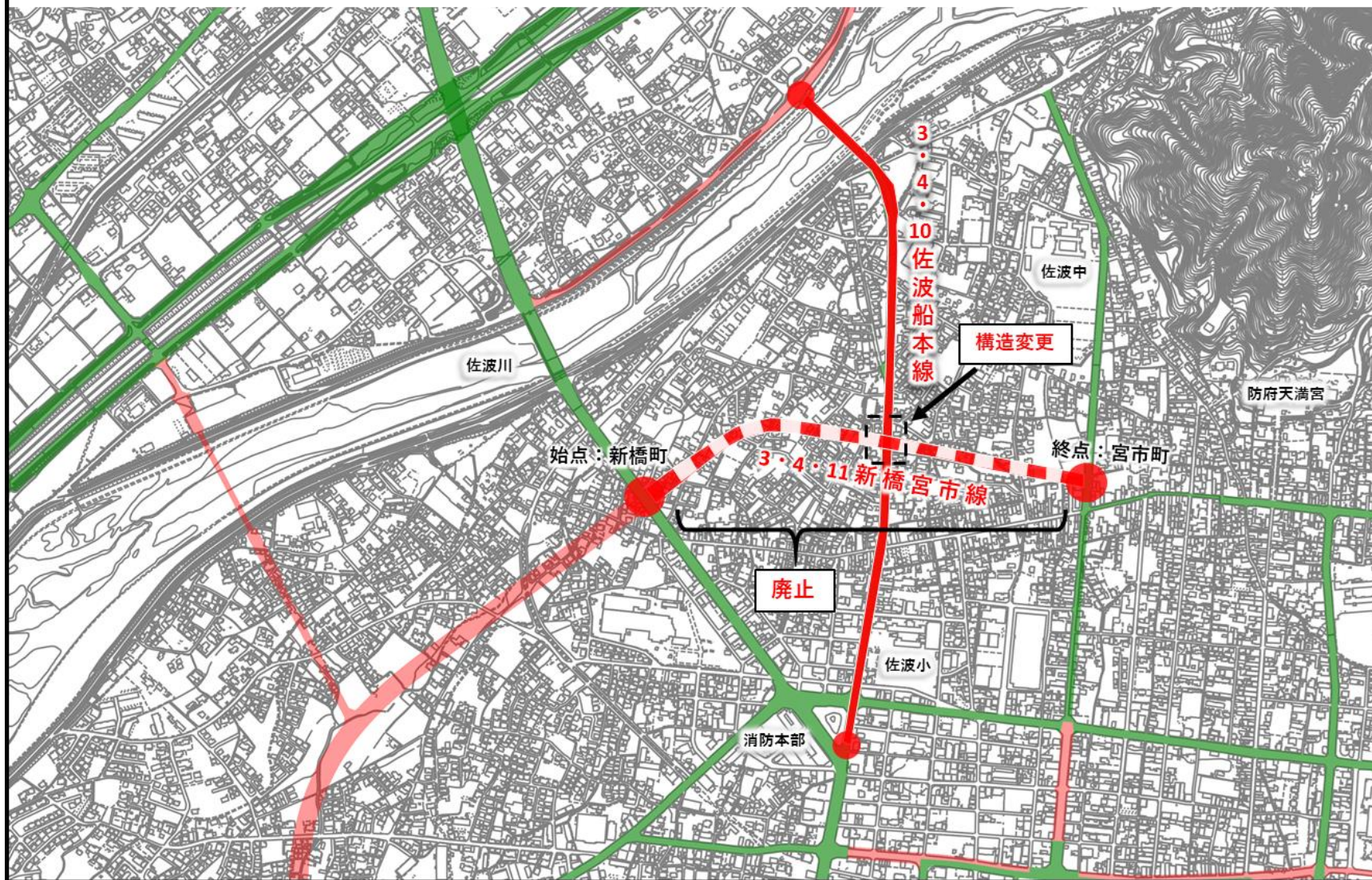
防府都市計画道路の変更

総括図



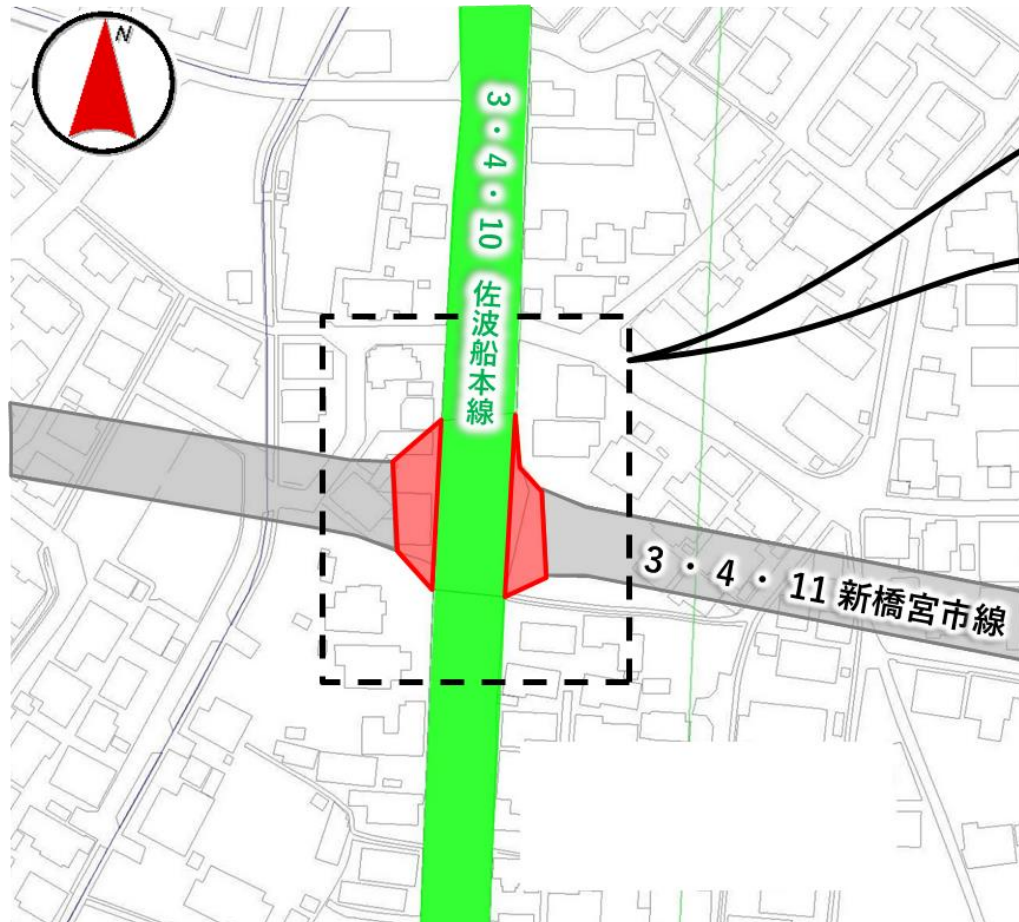
防府都市計画道路の変更

計画図

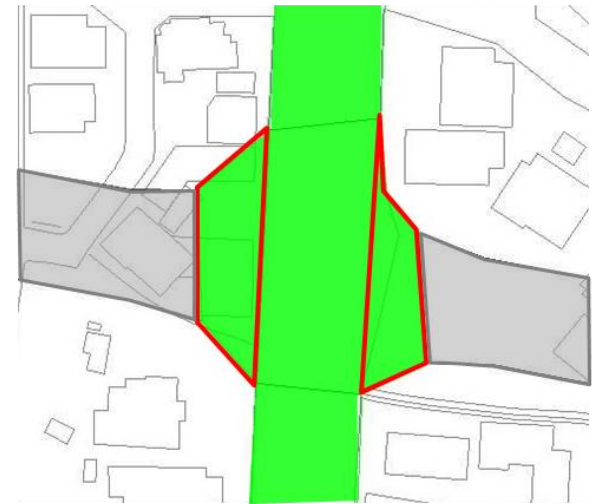


防府都市計画道路の変更

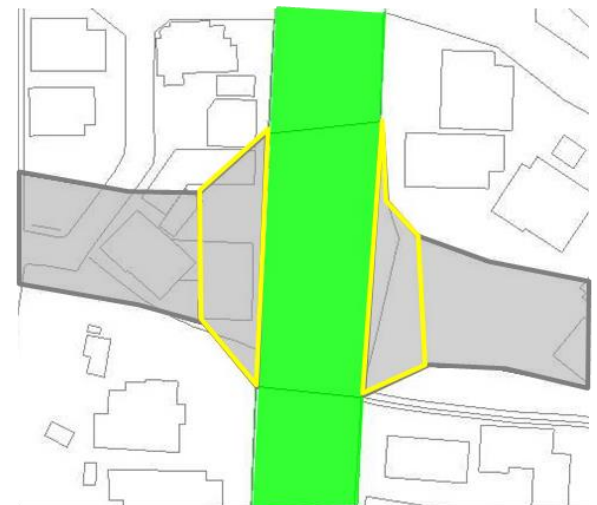
拡大図



都市計画変更前区域



都市計画変更後区域



新旧対照表

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹 線 街 路	3・4・10	佐波船本線	防 府 市 佐波二丁目	防 府 市 大 字 下 右 田 吉 敷 瀬	防 府 市 平今本 橋 和市 橋 市町町	約 1,410m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 4 箇 所	
		幅員の内訳		幅員 16m			約 1,220m					
				幅員 12m			約 190m					
新	幹 線 街 路	3・4・10	佐波船本線	防 府 市 佐波二丁目	防 府 市 大 字 下 右 田 吉 敷 瀬	防 府 市 平今本 橋 和市 橋 市町町	約 1,410m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所	
		幅員の内訳		幅員 16m			約 1,220m					
				幅員 12m			約 190m					

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹 線 街 路	3・4・11	新橋宮市線	防 新 府 橋 市 町	防 宮 府 市 町	防 今 府 市 町	約 930m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所	
		幅員の内訳		幅員 16m			約 930m					
新	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全線廃止

- 3 都市計画道路中 3・4・1 1 新橋宮市線の全線廃止に伴い、
都市計画道路中 3・3・2 防府山口線、3・4・2 6 戎町迫戸線
の区域を変更する。

防府都市計画道路の変更（山口県決定）

都市計画道路中 3・3・2 防府山口線ほか 1 路線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
幹 線 街 路	3・3・2	防府山口線	防 府 市 平 和 町	防 府 市 大 字 下 右 獄 の 後	防 府 市 大 字 高 井 町 新 橋	約 4,560m	地表式	4車線	22.5m	JR 山 陽 新 幹 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 山 陽 自 動 車 道 と 立 体 交 差 1 箇 所 3・3・5 富海大道線と立体交差 1箇所 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 4 箇 所	
	幅員の内訳		幅員 22m			約 890m					
			幅員 22.5m			約 2,610m					
			幅員 32m			約 670m					
			幅員 8.5×2（トンネル部）			約 390m					
	3・4・26	戎町迫戸線	防 府 市 戎 町 一 丁 目	防 府 市 迫 戸 町	防 府 市 戎 町 二 丁 目 宮 市	約 1,630m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 2 箇 所	
	幅員の内訳		幅員 16m			約 1,330m					
			幅員 25m			約 300m					

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

【3・3・2 防府山口線】

本路線は、本市の中心市街地と山口市を南北に結ぶ延長約 4,560m の都市内骨格道路として昭和 33 年（1958 年）に都市計画決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

このたび、本路線と平面交差する 3・4・1 1 新橋宮市線の廃止に伴い、交差箇所の隅切りについての処理を行う必要が生じました。

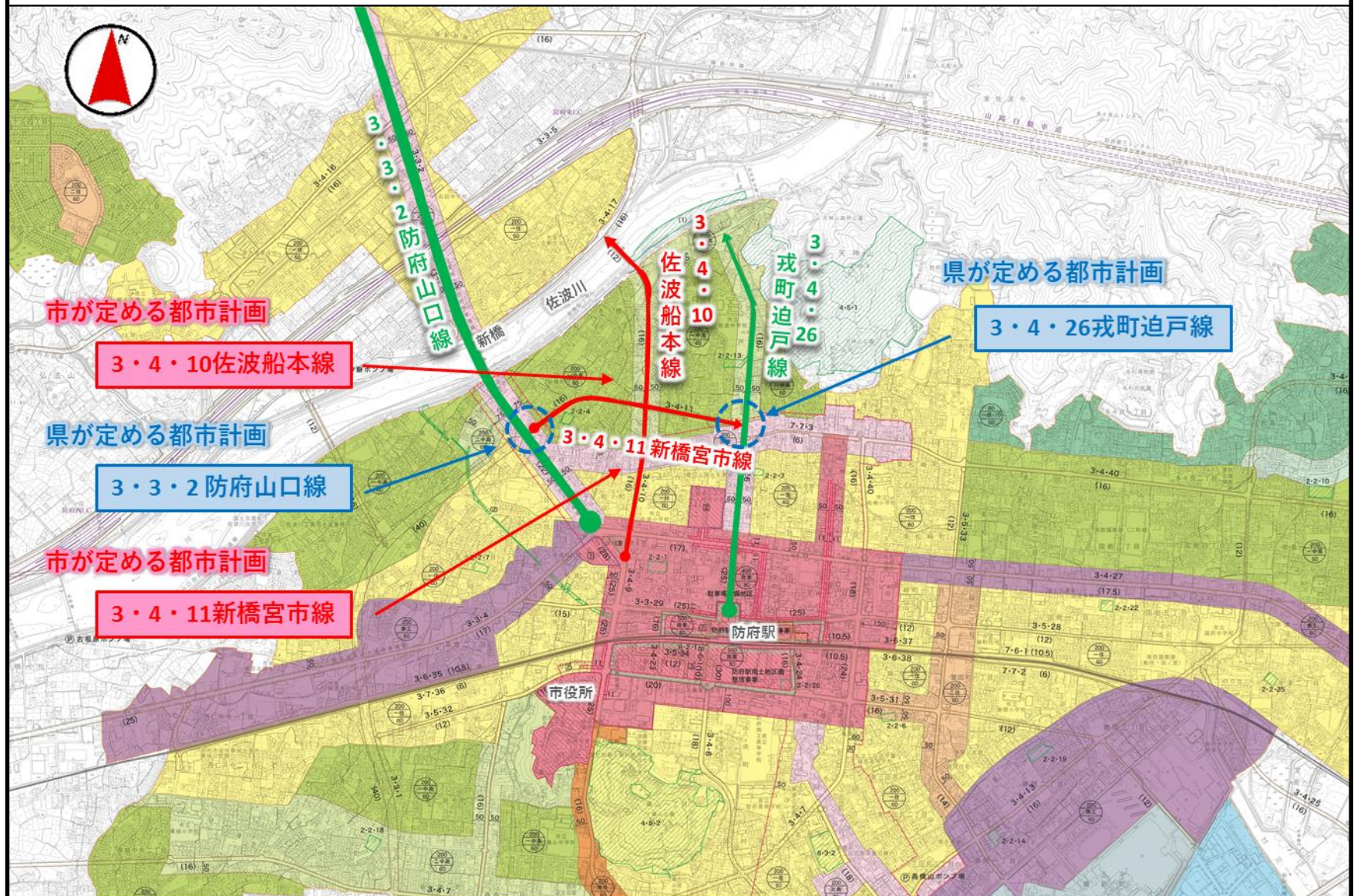
このため、道路計画の見直しを行い、平面交差 1 箇所の構造を変更するものです。

【3・4・2 6 戎町迫戸線】

本路線は、防府駅と迫戸地区を南北に結ぶ延長約 1,630m の幹線道路として昭和 33 年（1958 年）に都市計画決定され、平成 14 年（2002 年）に現在の計画へと変更されています。

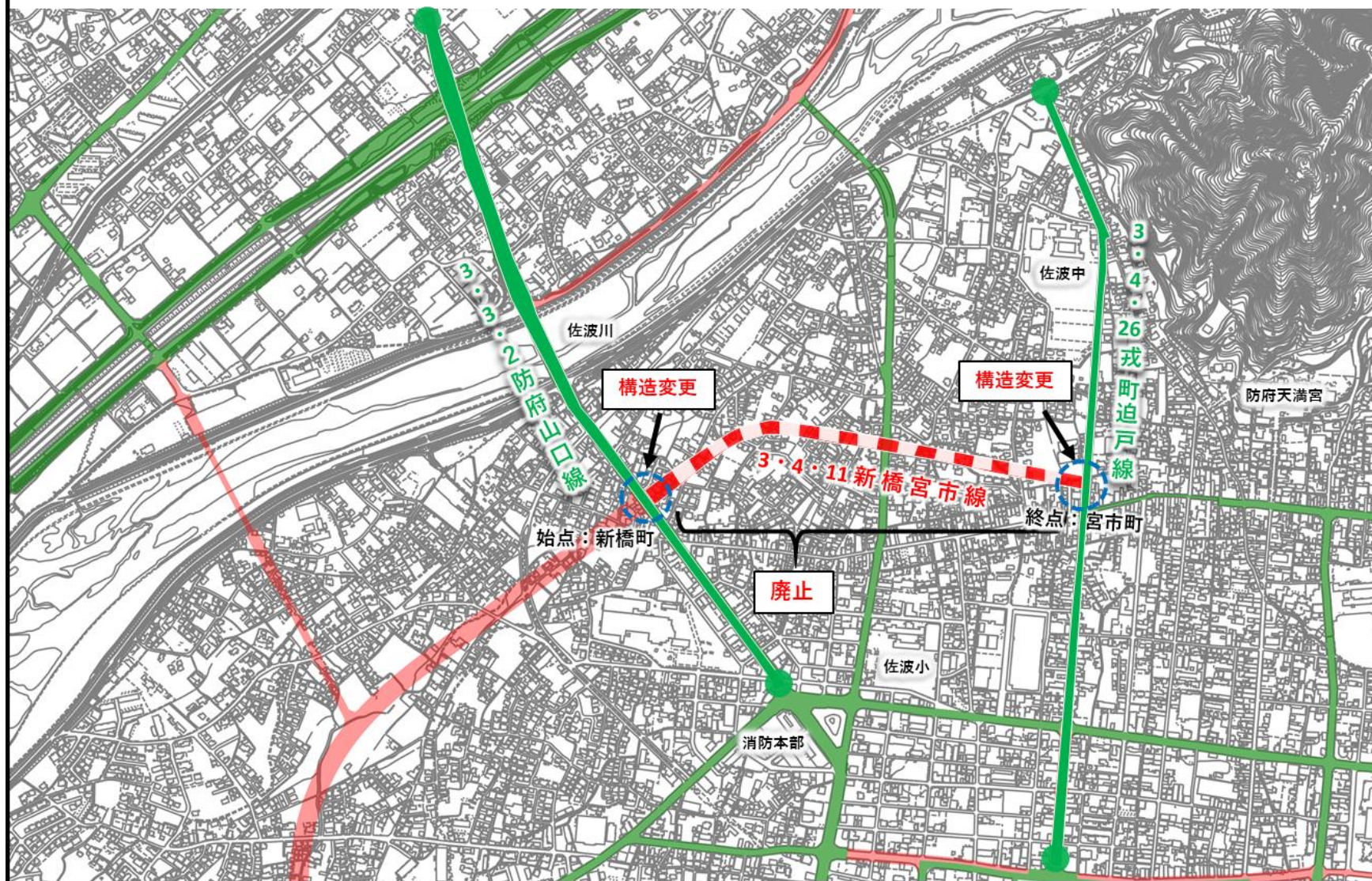
このたび、本路線と平面交差する 3・4・1 1 新橋宮市線の廃止に伴い、交差箇所の隅切りについての処理を行う必要が生じました。

このため、道路計画の見直しを行い、平面交差 1 箇所の構造を変更するものです。



防府都市計画道路の変更

計画図

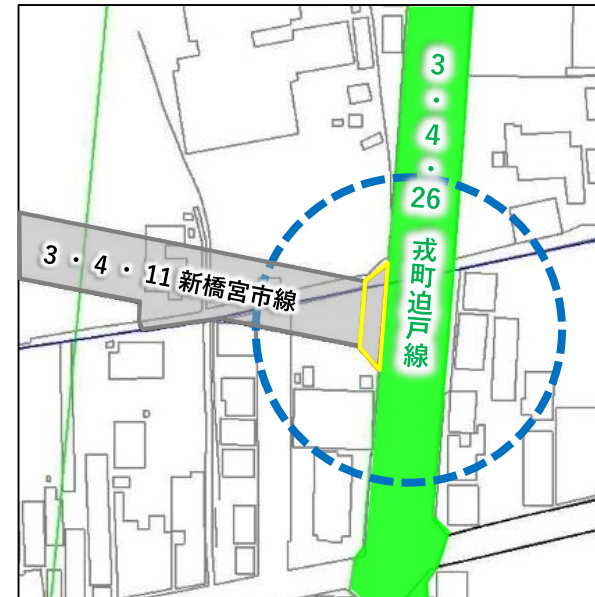
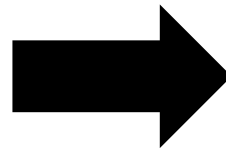
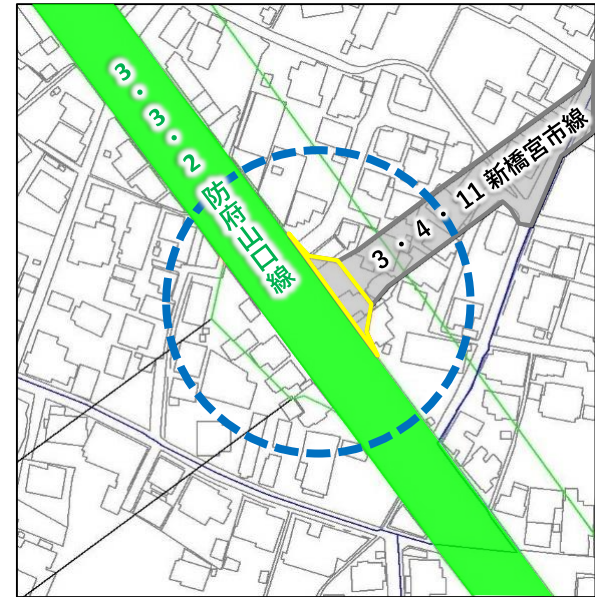
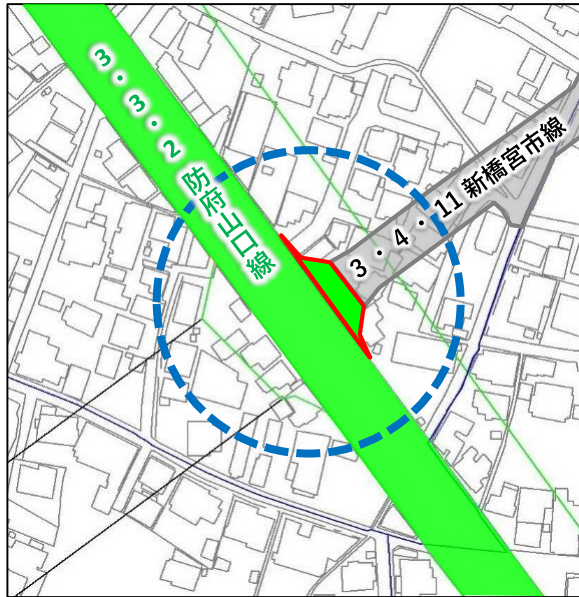


都市計画変更前区域

防府都市計画道路の変更

都市計画変更後区域

拡大図



新旧対照表

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹 線 街 路	3・3・2	防府山口線	防 府 市 平 和 町	防 府 市 大字 下 右 田 獄 の 後	防 府 市 大字 高 井 新 橋 町	約 4,560m	地表式	4車線	22.5m	JR 山 陽 新 幹 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 山 陽 自 動 車 道 と 立 体 交 差 1 箇 所 3・3・5 富海 大 道 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 4 箇 所	
		幅員の内訳			幅員 22m			約 890m				
					幅員 22.5m			約 2,610m				
					幅員 32m			約 670m				
					幅員 8.5m×2（トンネル部）			約 390m				
新	幹 線 街 路	3・3・2	防府山口線	防 府 市 平 和 町	防 府 市 大字 下 右 田 獄 の 後	防 府 市 大字 高 井 新 橋 町	約 4,560m	地表式	4車線	22.5m	JR 山 陽 新 幹 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 山 陽 自 動 車 道 と 立 体 交 差 1 箇 所 3・3・5 富海 大 道 線 と 立 体 交 差 1 箇 所 幹 線 街 路 と 平 面 交 差 4 箇 所	
		幅員の内訳			幅員 22m			約 890m				
					幅員 22.5m			約 2,610m				
					幅員 32m			約 670m				
					幅員 8.5m×2（トンネル部）			約 390m				

旧 新	種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
		番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構造 形式	車線 の数	幅 員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
旧	幹 線 街 路	3・4・26	戎町迫戸線	防 府 市 戎 町 一 丁 目	防 府 市 迫 戸 町	防 府 市 戎 町 二 丁 目 宮 市 町	約 1,630m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 3 箇 所	
		幅員の内訳		幅員 16m			約 1,330m					
				幅員 25m			約 300m					
新	幹 線 街 路	3・4・26	戎町迫戸線	防 府 市 戎 町 一 丁 目	防 府 市 迫 戸 町	防 府 市 戎 町 二 丁 目 宮 市 町	約 1,630m	地表式	2車線	16m	幹 線 街 路 と 平 面 交 差 2 箇 所	
		幅員の内訳		幅員 16m			約 1,330m					
				幅員 25m			約 300m					